

第4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

大津市立仰木の里小学校

教諭 竹川 宏枝

1 単元名 「みのりの森をみらいへつなげよう」

2 単元の目標

- みよりの森との関わりを通して、その場所の魅力に気づき、他学年や地域の方々に伝わるように図鑑にまとめることができる。 (知識・技能)
- みよりの森の魅力を知ってもらふ活動を考え、より伝わる方法を選び実際に活動することを通して魅力を発信することができる。 (思考・判断・表現)
- 魅力あるみのりの森を守り続けるためにどうすることが大切かについて友だちと一緒に考え、協力しながら活動することができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、みのりの森の生き物や植物について調査する活動を通して、自分の身の回りにある自然を見つめ、そのよさや魅力を理解し、みのりの森の魅力を知ってもらふために、自分たちにできることを考えるとともに、自分と地域との関わりを考えながら生活したり、行動したりすることができるようにするようすることをねらいとしている。

仰木の里小学校は、みのりの森という大津市内の学校林の中で2番目に広い面積を所有しており、緑豊かで、秋にはたくさんのお木の実を収集することができるといった魅力が満載である。しかし、普段当たり前のようにその自然環境の中で生活している児童にとって、自然環境を学校の魅力として実感するにはいたっていない。

そこで、「みのりの森を未来へつなげよう」をテーマに自分たちが生活する仰木の里小学校区の自然の魅力について考えていくこととした。みのりの森の中でいろいろなことを体験したり調べたりすることを通して、それらを守ることに携わっている人々と触れ合えるようにする。そうすることで、自分の身の回りの地域を見つめ直し、魅力や素晴らしさを実感するとともに、自分たちにできることを考え、自分と地域の関わりを考えながら生活したり行動したりすることができる姿へとつなげていきたい。

(2) 児童観

本校の児童は、第3学年で「仰木の里学区のキラキラさん」というテーマのもと、仰木の里学区の中で自分のために地域のために活動している人々から話を聞いたり触れ合ったりすることにより地域に愛着を感じ大切に守っていききたいと関心を高めている。

4年生の1学期には、「防災マップをつくろう」というテーマのもと、地域の防災設備の状況を把握するために自治防災会の方々と一緒にフィールドワークをするなど多様な方法で情報を集めたり、調べたことや考えたことについて1枚の防災マップを作成したりして、地域の方や下学年の児童に自助、共助の大切さを訴えることができた。進んで地域の人に関わったり直接話をしたりする機会が多いが、自ら課題を見つけたり追求したりする力に弱さがある。また、個性の強い児童が多くそれぞれの思いが強すぎて、互いに協力して行動していく力にはとても課題がある。そのため、みのりの森という児童にとって身近で親しみやすい場所をテーマに様々な体験や活動を通して、友だちと一緒につながる楽しさを味わ

せたい。

(3) 指導観

本単元は、大きく3つの小単元で構成している。

小単元1では、「みのりの森の魅力を調べよう！」というテーマのもと、児童がみのりの森の中で過ごす時間を増やすことに焦点を当てて児童がみのりの森の魅力を探っていくことができるようにする。みのりの森にすむ生物や植物について調査を行う際には地域在住のゲストティーチャーに協力をいただき、児童が興味を持ったことに柔軟に対応できるよう工夫する。このように、体験や調査、地域の方専門家にインタビューを通して、みのりの森の特色を魅力に認定していくこととする。その後、整理分析では、みのりの森の魅力を整理する。みのりの森の魅力を図鑑にまとめて伝えるという目的意識をもち、図鑑にまとめていく。

小単元2では、「みのりの森の魅力を伝えよう！」というテーマのもと、他学年や地域の方々にみのりの森の魅力を知ってもらうにはどのような手段が適切かということについて考え活動へとつなげる。児童が考えた活動が安全面、金銭面、実施面から可能であるかどうかを判断し、主体的に活動できる環境を設定するために児童によるプレゼンをおして、児童が4つの活動に絞ることとする。

小単元3では、「みのりの森の魅力を発信しよう！」というテーマのもと、小単元1と小単元2の活動を整理して魅力を発信することとする。表現方法や発信対象の選定ではどう伝えることで自分たちが伝えたい魅力がより伝わるかを考え、効果的な方法を選択できることを期待している。また、みのりの森の魅力を守っていくために、自分たちに何ができるかも考え、みのりの森を愛する一人として自分にできることを取り組んでいけるようにしていきたい。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性…みのりの森で過ごす時間を通して、その場所にはいろいろな良さがあることに気づく
連携性…気づいたことを仰木の里小学校の児童や家庭、地域に伝えていく事の大切さに気づく
責任性…自分たちの活動がみのりの森の保全につながっていく事に気づく

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

コミュニケーションを行う力

自分が友だちに伝えたいみのりの森への思いを写真や文章、作品を通してきちんと伝えることができる。

他者と協力する態度

みのりの森を仰木の里小学校の児童にとってより良い場所となるよう友だちと意見を交流したり進んで参加する態度

みのりの森を魅力ある場所として捉え、より良くしようと進んでアイデアを出したり、改善したりすることができる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

創立時より受け継がれてきたみのりの森を、次の世代へときちんと引き継いでいかなければならない

自然環境、生態系の保全を重視する

学校の魅力としてみのりの森を守っていくためには、自分たちの意識や関わりを変えていく必要がある。

・達成が期待される SDG s

15 陸の豊かさ

17 グローバルパートナーシップ

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技術	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>① みのりの森の自然を見つめ、そのよさや魅力を理解している。(知識)</p> <p>② みのりの森にすむ生物や植物の状況を捉えるために、生物種や生息環境に応じた方法で調査をしている。(技能)</p>	<p>① みのりの森の実情から問いを見出し、みのりの森の魅力を探る課題を自ら作り、解決に向けての見通しをもっている。(課題の設定)</p> <p>② みのりの森の魅力を把握するために、手段を選択して多様な方法で収集をしたり、種類に応じて蓄積したりしている。(情報の収集)</p> <p>③ 課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり分類したりしながら解決に向けて考えている。(整理・分析)</p> <p>④ みのりの森の魅力を知ってもらうために、自分たちにできることを考えて、伝える相手に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。(まとめ・表現)</p>	<p>① 課題解決に向けて、自分の良さや自分にできることに気づき、自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとしている。(自己理解・他者理解)</p> <p>② みのりの森の生物・植物調査などの探求的な活動体験を通して、課題解決に向けて、友だちと協働して探究活動に取り組もうとしている。(主体性・協働性)</p> <p>③ みのりの森の魅力を知ってもらうために自分たちにできることを見つけ、問題解決のために行動に移そうとしている。(将来展望・社会参画)</p>

5 単元の指導計画 (全34時間)

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 森林について知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工林や自然林があるんだ。 ・みのりの森は人工林なんだ。 <p>2 やまのこへ行こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葛川少年自然の家で野外活動をする。 ・やまのこの活動についてまとめよう 	<p>○人工林や自然林について学ぶ機会をつくる(熊森協会)</p> <p>○葛川少年自然の家で野外活動を通して自然に親しみをもたせる。</p> <p>○やまのこの活動を振り返る活動を通して自然の面白さ、尊さについて気づかせるようにする。</p>	<p>ア①② (知・技)</p>

<p>3 みのりの森ってどんなところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのりの森は、平成2年に仰木の里ができた時に作られたんだ。 ・大津市で2番目に大きい学校林なんだ ・みのりの森は居心地がいい場所だね。 ・夏は涼しいし、秋は栗が一杯取れるよね。 ・大きな蜂がいてすんでいるよ。 ・かなへびやきれいなとかげがいるよ。 <p>4 みのりの森はかせになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのりの森散策しながら、どんな生き物・植物があるかを採取→調べる→まとめる ・蜂がたくさんいる木は樗の木っていう名前なんだ。 ・おぐるみは土の中に入れておくと実が取れやすくなるんだ。 	<p>○みのりの森の始まりを知っている卒業生や地域の方の話を聞くことで、みのりの森がつながっていることを知る機会をつくる。(江口さん・小川さん)</p> <p>○みのりの森の魅力について交流することで自分たちにとって、みのりの森がどんな存在なのかについて考える機会をつくる。</p> <p>○みのりの森の生物・植物を調べまとめることでみのりの森により興味をもてるようにする。(西田さん・辻田さん)</p>	<p>ア①② (知・技)</p>
<p>5 みのりの森と仲良くなろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の実を使ってワークショップをしてみのりの森の面白さを伝えたい。 ・学校みんなが楽しめるように整備をしよう。 ・とかげやかなへび、カブトムシがたくさんいる場所にしたい。 ・秘密基地を作りたい。 <p>6 みのりの森と共生しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのりの森を守り続けるために何ができるかを考え呼びかける。 ・活動しやすいように散策道を整備しよう。 ・生き物が住みやすいようにごみを拾い、落ち葉は木の根もとにおこう。 ・下枝を切って再利用しよう。 ・銀杏を販売し森の資金を集めよう。 <p>7 活動をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も整備をしよう。 ・6年生のインプルーブメント活動に繋げよう。 	<p>○みのりの森の魅力はどこなのか、その魅力を伝えるためには、どんな活動をするよいかを考えさせる。児童が考えた活動が多種にわたった場合は、プレゼンをさせて、安全面・金銭面・実践面から4つの活動に絞らせる。</p> <p>○児童集会の時に、みのりの森の魅力について発信できる機会をつくる。</p> <p>○継続的に活動していくことができるように働きかける。</p>	<p>イ①②③ (思判表)</p> <p>ウ①②③ (主体的)</p>